

ゼロカーボン・ビレッジエリアデザイン委託業務 公募型プロポーザル実施要領

1 業務の目的

厚真町が発注を予定するゼロカーボン・ビレッジエリアデザイン委託業務を受託する者（以下「設計者」という。）の選定にあたり、技術提案者の豊かな創造性、高い技術力、豊富な経験などを有し、厚真町と共同で意欲的に取り組むことのできる優れた設計者を選定することを目的に公募型プロポーザルを実施する。

2 業務委託の内容

(1) 業務名称

ゼロカーボン・ビレッジエリアデザイン委託業務

(2) 業務内容

ア 全体計画検討

※検討要素については、別紙「検討要素」のとおり。

イ ゼロカーボン・ビレッジエリアデザイン（基本設計）

ウ ゼロカーボン・ビレッジ整備工事費概算

エ イメージパース作成（鳥瞰、アイレベル等2～3カット程度）

オ 打ち合わせ及び記録

カ 厚真町地域脱炭素推進委員会資料作成等補助業務

※ただし、契約時において受注者の提案内容により一部を変更する場合もある。

(3) 履行期間

契約日の翌日から令和6年3月29日まで

(4) 事業費

7,000,000円（消費税及び地方消費税含む）以内

3 事業計画概要

(1) 計画予定地 E A S Tエリア：勇払郡厚真町字上厚真 16-1, 18-1 の内 計2筆

敷地面積：18,145.41 m² (1.8 ha)

W E S Tエリア：勇払郡厚真町字上厚真 9-1 他20筆 計21筆

敷地面積：35,018.11 m² (3.5 ha)

(2) 用途地域 現況：準工業地域 ただし、第1種住居地域に変更予定有り

※ゼロカーボン・ビレッジにおいて「地区計画」を設ける予定有り

(3) 街区構成 一般住宅地、商業用地のほか、「きた住まいるヴィレッジ」用地、厚真町「子育て支援住宅」用地を内包した街区構成とする。

4 参加資格要件等

(1) 参加資格要件

本プロポーザルに参加できる者（以下「参加者」という。）は、法人格を有し、下記に掲げる要件をすべて満たすものとする。また、複数の者で構成される共同企業体（以下「JV」という。）で参加する場合は、代表企業が法人格を有していれば足りるものとする。

ア 単体企業の場合

- ① 道内に本社又は主要な支社・支店等を有すること。
- ② 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4（同令第 167 条の 11 第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に該当しないこと。
- ③ 厚真町から指名停止措置を受けていない者であること。
- ④ 建築士法（昭和 25 年法律第 202 号）第 23 条の規定により、一級建築士事務所の登録を受けていること。
- ⑤ 建築士法第 10 条第 1 項の規定による処分を受けている者が所属していないこと。
- ⑥ 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続開始の申し立てがなされていない者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき再生手続開始の申し立てがなされていない者であること。
- ⑦ 厚真町契約等に係る暴力団等の排除措置要綱（平成 25 年 1 月 1 日施行）に該当しない者であること。
- ⑧ 公租公課の滞納がないこと。
- ⑨ 以下の実績要件を満たすこと。

同種業務又は類似業務の実績

日本国内における国等（独立行政法人含む）又は地方公共団体等および民間が発注する、区画整理事業および宅地開発設計業務、公的賃貸住宅団地、民間集合住宅団地等の整備設計業務、又は街並み景観環境整備設計業務等の類似業務の実績を有すること。ただし、開設 1 年未満の事業者にかぎり、当該事業所としての実績がない場合、代表者および本業務担当技術者の直近 5 年における実務実績をもって足りるものとする。

- ⑩ 提出した書類の記載事項に虚偽がないこと。

イ JV の場合（JV を構成する者の呼称は、代表構成員、構成員とする。）

- ① JV は代表構成員と 1 者もしくは 2 者の構成員で結成されたものであること。
- ② 代表構成員は、本要領 4 (1) ア①～⑩に掲げるすべての条件を満たすこと。
- ③ 構成員は、本要領 4 (1) ア②～⑧及び⑩に掲げるすべての条件を満たすこと。
- ④ いずれの構成企業も、単体又は他の JV の代表・構成員として本プロポーザルに参加していないこと。

(2) 業務実施上の条件

業務の実施にあたっては、次の条件をすべて満たすものとする。

ア 分担業務分野の再委託

- ① 造成分野を再委託する場合は、再委託先に都市計画法第31条及び都市計画法施行規則第19条第1項第1号ト〜チに規定する宅地造成設計士、または、一級建築士が所属していること。ただし、参加者に本業務に携わることが可能な同資格者が所属している場合は、この限りではない。
- ② 再委託先の協力事務所は、本要領4(1)ア②〜⑧を満たすものとする。

イ 配置予定技術者

- ① 業務管理責任者及び主任技術者を1名ずつ配置すること。
なお、業務管理責任者及び主任技術者は、一級建築士または、技術士（都市計画及び地方計画）の資格を有すること。
- ② 業務管理責任者及び主任技術者は、本要領4(1)⑨の実績を有すること。
- ③ 業務管理責任者及び主任技術者の兼任については仕様書によるものとする。

※ 業務管理責任者とは、契約の履行に関し、業務の管理及び統括等を行うものであり、「建築設計業務委託契約書」（平成10年10月1日建設省厚契発第37号）第15条の定義により受託者が定めた者をいう。

※ 主任技術者とは、業務管理責任者のもとで各分担業務分野における担当者を統括する役割を担う者をいう。

(3) 参加の制限

ア 設計共同体の構成企業は単体または他の設計共同体の構成企業として参加することはできない。

イ 参加者からの技術提案書等は、1者あたり1提案とする。

ウ 次に掲げる者が所属する単体企業は、本プロポーザルに参加することはできない。
また、単体企業は、次に掲げる者から直接又は間接的に支援を受けることはできない。

- ① 選考委員会委員及びその家族
- ② 選考委員会委員及びその家族が主宰、役員、顧問及び組織に所属しているもの

5 参加に関する手続き

(1) スケジュール

実施要領等の質問締切	令和5年8月14日（月）
実施要領等の質問回答	令和5年8月17日（木）
参加表明書等の提出期限	令和5年8月22日（火）
1次審査（書類審査）	令和5年8月28日（月）
技術提案書等の質問受付期間	令和5年8月17日（木）～8月30日（水）
技術提案書等の質問回答	令和5年9月 4日（月）
技術提案書提出期限	令和5年9月13日（水）

2次審査（プレゼンテーション）	令和5年9月20日（水）
選定結果通知、優先交渉権者公表	令和5年9月22日（金）
業務委託契約締結	令和5年9月下旬

(2) 実施要領等の配布

ア 配布資料

- ① ゼロカーボン・ビレッジエリアデザイン委託業務公募型プロポーザル実施要領
- ② ゼロカーボン・ビレッジエリアデザイン委託業務公募型プロポーザル評価要領
- ③ ゼロカーボン・ビレッジエリアデザイン委託業務公募型プロポーザル仕様書
- ④ ゼロカーボン・ビレッジエリアデザイン委託業務公募型プロポーザル様式集
- ⑤ 参考資料1 厚真町ゼロカーボン・ビレッジ構築計画書
- ⑥ 参考資料2 厚真町再エネ導入戦略 報告書

イ 配布方法

配布資料は厚真町ホームページからダウンロードすること。

(3) 参加表明書等の提出

技術提案書の提出を希望する参加者は、以下の要領で参加表明書等の書類を提出すること。

ア 提出期限

令和5年8月22日（火）午後5時まで（郵便の場合は、期限内必着のこと）

イ 提出方法

事務局まで持参（受付は、土・日・祝祭日を除く午前9時から午後5時まで）又は書留郵便にて提出すること。

ウ 提出書類

提出書類	様式等	提出部数等
参加表明書類	プロポーザル参加表明書（様式1）	原本1部
	会社概要（様式3）	
	業務実績書（様式4）	
	実施体制（様式5）	
	予定担当者調書（様式6-1～6-3）	
	国税及び地方税の納付証明書	

エ 参加表明書等に関する質問の受付及び回答

質問は1次審査に係る参加資格や提出書類等に関する内容のみとし、質問書（実施要領等）（様式7）により電子メールで提出することとする。なお、必ず事務局への電話連絡により、電子メールの受信を確認すること。電話等による質問や提出期限を過ぎた質問は受け付けない。

① 受付締切

令和5年8月14日（月）午後5時（事務局必着）

② 回答期限

令和5年8月17日（木）

③ 回答方法

質問を取りまとめ、回答書として厚真町公式ホームページに掲載する。

④ 注意事項

- ・ 電子メール表題を「ゼロカーボン・ビレッジエリアデザインプロポーザル質問（参加表明書）」と明記すること。
- ・ 質問の内容を確認するため、本町から問い合わせる場合がある。
- ・ 質問に対する回答は、実施要領等を補完するものとする。

オ 参加表明書等記入上の注意事項

① 様式規格は、A4版縦のみとし、A3版の折り込みは不可とする。

② 文字サイズは11ポイント以上とする。

③ 使用する言語は日本語とし、通貨及び単位は、日本国通貨、日本の標準時間及び計量法（平成4年法律第51号）に定める単位とする。

④ 参加表明書（様式1）

必要事項を記載し、代表者印を押印のうえ、提出すること。

⑤ 会社概要（様式3）

会社概要および技術者数、有資格者数等について記載すること。

⑥ 参加者の同種又は類似の業務実績（様式4-1）

本要領4(1)⑨に該当する同種又は類似の業務実績について、同種業務の実績を優先し、それぞれ1件以上記載するものとし、それぞれ最大3件まで記載すること。

業務実績は元請として受注したものを対象とする。JVとしての実績については、代表構成員として関わった業務について記載すること。

⑦ 実施体制（様式5）、予定担当者調書（様式6-1～6-3）

配置予定の業務管理責任者、各分野担当主任技術者について「保有資格」「業務実績」等について記載すること。

業務実績については、配置予定技術者の本要領4(1)⑨に該当する実績において、業務管理責任者、主任技術者又は担当者として関わったものに限り3件まで記載できるものとする。なお、記載した配置予定技術者について、資格を証明する書類（免許証の写し等）と参加者との雇用関係を証明する書類（健康保険証の写し等）を添付すること。

(4) 技術提案書等の提出

ア 提出期限

令和5年9月13日（水）午後5時（事務局必着）

イ 提出方法

事務局まで持参（受付は、土・日・祝祭日を除く午前9時から午後5時まで）又は書留郵便にて提出すること。

ウ 提出書類及び部数

資料は厚真町ホームページからダウンロードすること。

提出書類	様式等	提出部数等
技術提案書（表紙）	様式 2	原本 1 部 データの提出
業務実施方針	任意様式を使用し、A 3 版横片面 1 枚に まとめ記載すること。	
基本方針	任意様式を使用し、テーマごとに A 3 版 横片面 1 枚にまとめ記載すること。 各基本方針について記載されていること が明確にわかるような表現とすること。	
基本理念・基本方針を実 現するための独自提案	任意様式を使用し、A 3 版横片面 1 枚に まとめ記載すること。	
業務を遂行するためのス ケジュール管理計画	任意様式を使用し、A 3 版横片面 1 枚に まとめ記載すること。	
見積書	任意様式	原本 1 部

エ 技術提案等に関する質問の受付及び回答

質問は、技術提案等に関する内容のみとし、質問書（技術提案書等）（様式 8）により電子メールで提出することとする。なお、必ず事務局への電話連絡により、電子メールの着信を確認すること。電話等による質問や提出期限を過ぎた質問は受け付けない。

① 受付締切

令和 5 年 8 月 3 0 日（水）午後 5 時（事務局必着）

② 回答期限

令和 5 年 9 月 4 日（月）

③ 回答方法

質問を取りまとめ、回答書として厚真町公式ホームページに掲載する。

④ 注意事項

- ・ 電子メール表題を「ゼロカーボン・ビレッジエリアデザインプロポーザル質問（技術提案書）」と明記すること。
- ・ 質問の内容を確認するため、本町から問い合わせる場合がある。
- ・ 質問に対する回答は、実施要領等を補完するものとする。

オ 技術提案書等記入上の注意事項

① 任意様式を使用し、提案を以下の枚数（表紙・目次は含まない。）で作成すること。

② 文字サイズは、11 ポイント以上とする。なお、注釈等に関してはこの限りではない。

③ 図、絵、写真等の使用は可とするが、具体的な設計図（正確な縮尺で作られた平面図、立面図、断面図等の設計図案）、模型（写真含む）及び透視図については、

著しく設計の内容が表現されることから使用は認めない。なお、これらの使用があると判断される場合は、失格とする場合がある。

また、「技術提案における視覚的表現の取り扱いについて」（平成 30 年 4 月 2 日 付け事務連絡 大臣官房官庁営繕部通知）を参考とする。

- ④ 技術提案書には、参加者を特定できる内容（名称や記号、作品名等）を表示してはならない。
- ⑤ 業務実施方針については以下について A 3 版横片面 1 枚にまとめ記載すること。
 - ・ 基本設計策定に関する姿勢、業務の趣旨及び業務内容並びに本町のまちづくりに対する理解
 - ・ 業務実施体制、設計チームの特色
- ⑥ 基本方針については、別紙「検討要素」に記載の方針ごとに A 3 版横片面 1 枚にまとめ記載すること。その際、各基本方針について記載されていることが明確にわかるような表現とすること。
- ⑦ 独自提案
 - エリアデザイン業務を進めるにあたり、別紙「検討要素」の記載内容のほかにゼロカーボンに資することやウェルビーイングにつながる独自提案があれば、A 3 版横片面 1 枚にまとめること。
- ⑧ 業務を遂行するためのスケジュール管理計画
 - 業務期間内に基本設計業務を遂行するためのスケジュール管理計画について、A 3 版横片面 1 枚にまとめること。
- ⑨ 見積書
 - 見積書の金額は、消費税及び地方消費税を含めた金額とし、本要領 2 (4) に記載する委託料上限額を超えてはならない。

6 事業者選定

ゼロカーボン・ビレッジエリアデザイン委託業務公募型プロポーザル評価要領（以下「評価要領」という。）に基づき、ゼロカーボン・ビレッジ事業及び上厚真市街地道路網整備事業、上厚真市街地空き地・空き家・空き店舗利活用事業に係る業務受託者選考委員会（以下「選考委員会」という。）において技術提案書やプレゼンテーション等による審査を踏まえ、実施する。

(1) 参加資格審査

提出された参加表明書等は、選考委員会において内容を確認し、本要領「4 参加資格要件等」を満たしている者に対し、書面により通知する。参加が認められた者に技術提案書等の提出を求める。

(2) 技術提案審査

ア 提案書及びプレゼンテーション等による審査方法及び結果の通知

提出された技術提案書の内容と参加者によるプレゼンテーションを踏まえ、評価点

の最も高い参加者（総配点の6割以上の得点があった参加者に限る。）に優先交渉権を与え、随意契約に向けた交渉を行う。交渉の結果、合意に至らなかった場合は、次の参加者と交渉を行う。

イ 技術提案書等の評価基準

評価基準は、別紙「ゼロカーボン・ビレッジエリアデザイン委託業務公募型プロポーザル評価要領」による。

ウ プレゼンテーションの実施方法

プレゼンテーションの詳細については別途連絡します。

(3) その他

選考委員会の委員構成は、本プロポーザル手続きが完了するまで公表しない。

7 優先交渉権者の選定

技術提案及びプレゼンテーションの結果、受託候補者として特定された参加者に対してはその旨の通知を、特定されなかったものに対してはその旨を書面により通知する。また。審査結果については、厚真町公式ホームページにおいて公表する。

8 契約の締結

(1) 契約締結交渉

受託候補者から事前に受けた見積書の金額を超えない範囲で、契約の交渉を行う。契約交渉が不調の時は、次点の参加者と交渉を行う。

なお、この手続きに参加した企業が、公示日から受託候補者選定までの間に厚真町から入札参加資格停止の措置を受けた場合は、契約の締結を行わないことがある。

本案件に係る情報公開請求があった場合は、提出書類を公開する場合がある。

(2) 業務委託料

委託料上限額の範囲内で、契約の交渉により確定した額を業務委託料とする。

9 失格要件

次のいずれかに該当する場合は、受託候補者の資格を取り消すものとする。

- ① 提出書類に虚偽の記載があった場合
- ② 審査の公平性を害する行為があった場合
- ③ 参加資格要件を満たさなくなった場合
- ④ 提出期限を過ぎて提案書等が提出された場合

10 その他

(1) 参加に係る費用について

本プロポーザルの参加に係る費用は、すべて参加者の負担とする。

(2) 提出書類の取り扱い

ア 提出された書類は一切返却しない。

イ 提出された書類の著作権は、提出者に属するが、選定作業等に必要な範囲に置いて複製を作成するものとする。

ウ 提出された書類及びその複製は、審査以外で無断に使用しないが、受託候補者に選定された者の技術提案書については、本プロポーザルに関する記録の公表等に利用できるものとし、公表の際の使用料は無償とする。

(3) 辞退について

参加者が、本プロポーザルを辞退する場合は、辞退届（様式9）により、令和5年9月8日（金）午後5時までに提出すること。

なお、辞退した場合でも、これを理由として以降の厚真町の業務発注等に不利益な扱いを受けることはない。

(4) 異議申し立て

審査経緯及び結果等についての異議申し立ては受け付けない。

(5) 提案内容の取り扱い

本プロポーザルは、設計者の選定を目的として実施するものであり、必ずしも提案内容が設計業務にすべて採用できるものではない。

(6) 参加の制限

今後、厚真町ゼロカーボン推進事業に関し本町が行う入札等について、発注方式の如何を問わず、本業務受託者の参加を妨げるものではない。

11 お問い合わせ先

〒059-1692 勇払郡厚真町京町120番地

厚真町まちづくり推進課ゼロカーボン推進室

電 話：0145-27-3179

FAX：0145-27-2328

メール：hukkou@town. atsuma. lg. jp

別紙 検討要素

テーマ	基本方針 1 【ゼロカーボン】自然の恵みを享受した環境にやさしいまちづくり
	方針 1-1（自然環境と共生した脱炭素化） 採光、通風等に配慮した街区形成と緑化による温度上昇の緩和等
	方針 1-2（再生可能エネルギーの活用） 再生可能エネルギー設備設置を考慮した街区形成や景観に配慮したエリア再エネインフラの整備と共用施設等への電熱供給などの検討
	基本方針 2 【タウンスケープ】ずっと住みたいと思えるまちづくり
	方針 2-1（魅力ある街並み） 周辺の景観と融合した住民が好ましいと思える景色づくり、街並み形成の検討や多様なライフスタイルに対応したゾーニングや区画規模等の検討
	基本方針 3 【コミュニティ】笑顔が集まり誰もが主役となるまちづくり
	方針 3-1（多様性と受容） ダイバーシティ&インクルージョンをコンセプトとして誰もが主役となる住民参加型のまちづくり・共助・コミュニティ構築に資する施設又はスペースの創出
	基本方針 4 【レジリエンス】環境にやさしく、災害に強いまちづくり
	方針 4-1（地域防災力） 平時のグリーン電力利用促進と災害時の電力確保の両立のため、V2Lによるオフグリッド電力やV2Gによる余剰電力を活用した電力網の普及促進について検討 防災広場やエコパークといったコミュニティスペースと電力・生活水の防災備蓄を兼ね備えるなど、平時の円滑なコミュニティ構築と災害時の共助の連携に資する仕掛けやスペースの検討
	基本方針 5 【セキュリティ】安心・安全に暮らせるまちづくり
	方針 5-1（動線） 自動車も歩行者も見通しのよい道路網の計画や歩車分離、自動車の速度抑制等に配慮した動線計画及びサイン計画等
	方針 5-2（環境・設備） 洪水災害について余力を持った調整池の検討や消防活動に支障をきたさない動線計画や設備設置の検討、グリーン電力を活用した防犯施設（防犯灯・街路灯・防犯カメラ等）の配置計画